

2004年12月18日

村民の皆様へ

白馬村民フォーラム

代表 渡邊俊夫

### 提言書

去る12月18日、「白馬村のプロモーションビデオを作りたい」という若人たちによる意欲的な提案を受けて、第11回白馬村民フォーラムを開催しました。尚、参加者は21名でした。

提案理由の説明や海外の資料提示の後に限られた時間での真剣な討議を行いました。下記のように提言として纏めましたので、ここにご報告申し上げます。

#### 村が誇れる“売り”とは何か

どこにでもあるものは、“価格の安さ”で選ばれます。村の一番の“売り”となるのは、この地域ある「誇れるもの」「ここにしかないもの」です。この地域の固有の地形と天候、そして育んできた風土や文化が、まさに“売り”となります。私たちにとって“とてもあたりもの”、爽やかな空気、身近な小川、畦に咲く花、茅葺き家屋、庭の雪、などなどが、村を訪れ人たちにとっては新鮮であり、非日常であり、感動を与えるのです。大事に“売る”ことが求められます。

#### 訪れてもらいたい相手は誰か

昨年の日本の総人口は、かろうじて何とか微増です。65歳以上の高齢者が占める割合は5人に一人となり、14歳未満の子供たちの数を上回っています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、来年2006年には日本の人口はピークを迎え、その後は減少の一途を辿り100年後には総人口が1億3千万人から5千万人になると予想しています。日本はまさに世界で希なほど急速に小人口、少子高齢化の道を歩んでいます。この地域に、今後どのような方々に訪れてもらいたいと考えねばなりません。

#### 村が果たす社会的役割とは何か

類い希なる地形、天候、風土を有する地域です。地域の“持てるもの”が、訪れる人に感動を与え、また新たな活力を蘇らせます。村は、人口が1万に満たないここに住む人のための地域であると同時に、年間2百万人を超えと言われる多くのこの地を訪れる人たちのための地域です。私たちは、この地域の持つ社会的役割の認識の元に、この地域を維持し、育てていく必要があります。